



JICA海外協力隊 WEB説明会

看護系職種 篇

(看護師・助産師・保健師)

命に寄り添う活動をしたいとお考えの方

1. 保健・医療分野(看護系職種)の
ボランティアとは
2. 応募資格・経験等
3. 合格に向けて
4. 帰国後
5. 質疑応答

元青年海外協力隊員
JICAジュニア専門員

久野 佐智子

H21年派遣
グアテマラ/看護師

元青年海外協力隊員
看護師（大学病院勤務）

今江 沙織

H26年派遣
カンボジア/看護師

青年海外協力隊事務局
課題業務・選考課

宮下 明子

司会進行

村山 千代

1. 保健・医療分野 (看護系職種) の ボランティアとは

資格が必要

看護師	助産師	保健師	学校保健 (養護教諭)	
歯科衛生士	歯科技工士	薬剤師	鍼灸	
言語聴覚士	作業療法士	理学療法士	マッサージ師	
臨床検査技師	診療放射線 技師	医師	歯科医師	栄養士

資格がなくても応募が可能

※専門的な経験や知識が必要

公衆衛生	感染症・ エイズ対策	食品衛生	医療機器
病院運営管理			

JICAジュニア専門員



青年海外協力隊

21年度2次隊／看護師／グアテマラ



看護師（消化器外科）

久野 佐智子

学生の頃から国際協力に興味があり、携わりたいと思っていた。

看護師（大学病院勤務）



青年海外協力隊

平成26年度／看護師／カンボジア



看護師（大学病院勤務）

今江 沙織

- 中学生の時に見たアフリカの映像を忘れられず、自分も国際協力に参加したいと思っていた。
- サポート体制が充実している協力隊なら自分にもできるかもしれないと思えた。

看護師・助産師・保健師の主な活動場所と活動内容①¹⁰

2018年春募集の要請例 (看護師/47件、助産師/19件、保健師/11件 青年海外協力隊)

活動場所	主な活動内容	
病院	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・看護改善(知識、技術、倫理等) ・看護管理 ・医療安全の向上(感染管理、5S活動)
	助産師	<ul style="list-style-type: none"> ・産科看護、新生児看護、助産改善(知識、技術、倫理等)
地域	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・PHC支援 ・感染管理 ・栄養指導 ・改善 ・健康 ・衛生 ・性教育等の啓発活動
	助産師	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健サービス ・家族計画 ・若年妊娠に関する啓発教育
	保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・PHC支援 ・感染管理 ・栄養指導 ・改善 ・健康 ・衛生 ・性教育等の啓発活動
養成学校	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学校 ・大学において講義や演習への協力、教材の作成 ・学生への臨床実習指導や指導者への研修
	助産師	<ul style="list-style-type: none"> ・助産師養成教育の改善 ・支援
	保健師	<ul style="list-style-type: none"> ・職業訓練高校保健科における教育

看護師・助産師・保健師の主な活動場所と活動内容②¹¹

2017年秋募集の要請例（看護師/4件、助産師/1件 シニア海外ボランティア）

活動場所	主な活動内容	
病院	看護師	・看護管理 ・感染管理
短大	看護師	・看護教育
政府機関	助産師	・看護人材育成

政府機関／看護・助産サービス局



**ウズベキスタン
子どもの患者を見る看護師
ボランティア**

(©JICA/沼田早苗)



**ニジェール
ポリオと麻疹の予防活動をする看護
師ボランティア**

(©JICA/飯塚明夫)



**セネガル
新生児の状態を確認する助産師ボランティア**

(©JICA/今村健志朗)



**ベトナム
ギアロイ村保健所にて女性向けの勉強会を行う助産師ボランティア**

(©JICA/吉田勝美)



フィリピン
妊婦や母親を対象にしたアンケート
用紙を手に、母親に聞き取り調査を
する保健師ボランティア

(©JICA/今村健志朗)



ガーナ
年に3回あるポリオキャンペーンで、
集まって来た住民にエボラ予防の
指導をする保健師ボランティア

(©JICA/久野武志)

3大感染症(HIV/エイズ、マラリア、結核) やフィラリア症、シャーガス病、デング熱、麻疹、ポリオ等の各種感染症の感染防止や撲滅に向けた保健行政支援や住民啓発活動を行います。

主な配属先	主な活動内容
医療機関	<ul style="list-style-type: none">● 患者データの収集・分析● 感染源除去のための活動支援
行政機関	<ul style="list-style-type: none">● 地域住民、学校における感染症予防啓発活動企画・運営
NGO	<ul style="list-style-type: none">● 地域住民を対象としたワクチン接種等の感染予防支援● 予防啓発のための教材作成
情報収集機関	<ul style="list-style-type: none">● 患者の診断・治療・フォローアップ事業の支援



**ニジェール
住民への啓発を中心としたマラリア
等感染症撲滅活動をする感染症・
エイズ対策ボランティア**

(©JICA/飯塚明夫)

現地の実情やニーズを把握しながら、地域社会と連携して保健・衛生の向上のための諸活動を行います。

主な配属先	主な活動分野と内容
医療機関	【保健・衛生指導】 <ul style="list-style-type: none">●地域住民の保健・衛生の向上のための教育と指導
行政機関	<ul style="list-style-type: none">●母子保健指導、健康指導、栄養指導、調理指導活動 【感染症予防に関する指導】
NGO	<ul style="list-style-type: none">●害虫駆除支援、予防接種事業の支援、食中毒の予防指導●「水の衛生」に関する活動の支援
情報収集機関	【住民健診】 <ul style="list-style-type: none">●地域住民における感染症・風土病を含む疾病の実態調査や疾病の発症に対する予防措置および治療計画の策定活動



ウガンダ
公衆衛生をテーマにワークショップを
行うボランティア

(©JICA/船尾修)

- 5歳児未満児の死亡率の高い地域で、子ども健康改善を担う地域保健担当の看護師

活動内容(久野さん)

- 低体重児の栄養改善
- 子どもの予防接種の推進
- 小学校の環境教育（リサイクル）

- 7:00 起床、朝食、身支度
- 8:00 派遣先のクリニック、
もしくはミーティングなどの場所（市役所など）
- 11:00 おやつの時間
- 13:00 昼食
- 14:00 仕事再開（地域の畑視察、家庭訪問など）
- 16:00 業務終了
- 17:00 帰宅
- 18:00 ジョギング
シャワー、夕食
- 22:00 就寝





低体重児の親と行った
野菜栽培



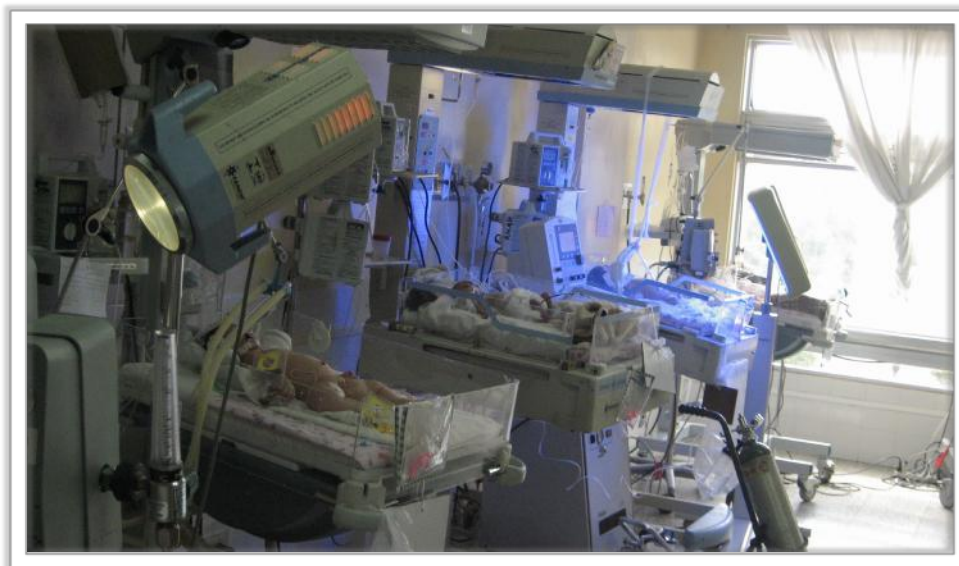
野菜の収穫



収穫した野菜を使った料理のデモンストレーション



地域のヘルスポスト
(派遣先)



都市部の病院の
NICU

- 研修部の各実施プロセスの支援
- 院内の5 S、接遇等に関する院内教育

活動内容(今江さん)

- 感染管理委員会の立ち上げ
- ワークショップ開催
- 看護技術、看護業務の見直し
- 学校保健（他ボランティアと協力）

- 7 : 00 起床
- 8 : 00 屋台で朝ご飯を買い、自転車で病院へ
- 8 : 30 病院
(回診見学、院内ラウンド、会議、清掃等)
- 11 : 30 お昼休み 自宅で自炊
- 14 : 00 病院
(資料作成、クメール語の勉強)
- 16 : 30 市場で買い物をして帰宅
- 17 : 30 メコン川沿いで夕涼み
- 19 : 00 夕飯 (週に半分くらいは友人と一緒に)
- 20 : 00 インターネット、読書、ウクレレ
- 22 : 00 就寝







2. 応募資格・経験等

看護師、助産師、保健師

(青年海外協力隊)

- ① 各職種の**国家資格が必要**
- ② 病院や地域活動に関する要請は実務経験が3年以上がほとんど（派遣時点）
- ③ 専門性が求められる要請への応募は実務経験5年以上が望ましい
- ④ 要請内容によって、以下の経験等が求められる
 - ・ 特定の疾患や部署での知識や実務経験
 - ・ プライマリ・ヘルスケアや母子保健、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)についての体系的な知識や経験
 - ・ 糖尿病療養指導士資格等

* 実務経験は看護系職種での経験

看護師、助産師、保健師

(青年海外協力隊)

要請内容	求められる技術レベル
5Sが中心の活動	5Sについての体系的な理解
地域保健活動	<ul style="list-style-type: none"> ●プライマリー・ヘルスケアの理解 ●妊婦健診や乳児健診の知識・技術 ●患者指導・健康教育経験
看護学校	<ul style="list-style-type: none"> ●看護学校/大学勤務 ●看護教員養成研修受講者 ●臨床実習指導経験 ●臨床実習指導者講習受講者

看護師、助産師、保健師

(シニア海外ボランティア)

- ①各職種の**国家資格が必要**
- ②病院や地域活動に関する要請は実務経験が10年以上
(派遣時点)
- ③要請内容を充足する十分な知識と経験
(要請分野の理論体系を理解)

配属先	求められる技術レベル
病院	看護管理経験が望ましい
看護学校	豊富な看護教育の経験

看護知識、技術一般

(しかし、現地には現地の方法があるため、「教える」というスタンスではなかった。)

病院での職務経験全般

合格者はこんな人たち（2017年秋看護師二次選考合格者）

平均年齢	29.6歳			
実務経験	7年程度（5-10年／45%、10年以上／20%）			
勤務経験部署	ICU/ER/手術室	20%	ICU/ER/手術室+病棟	25%
	産婦・小児 (含NICU)	20%	病棟のみ (産婦・小児除く)	35%
専門最終学歴 (一次合格者)	5年制高校	10%	専門学校	30%
	短大	10%	大学	45%
	大学院(修士)	5%		
資格 (看護師以外)	保健師	40%	助産師	5%
	養護教諭	5%		
英語レベル (一次合格者)	Aレベル／10%		Bレベル／5%	
	Cレベル／20%		Dレベル／65%	

3. 合格に向けて

- ① 自分がやりたいことではなく、自分の持つ技術や経験でどうやって相手の役に立てるかを考える
- ② 看護師等として経験してきた業務内容、担当した係、その他できること、自信のあること等を振り返り、できるだけ具体的に応募書類に書き込む
- ③ 要請内容についてよく読み込み、具体的な活動イメージを作りつつ、事前に関連する事項について勉強（復習）する
- ④ 健康管理も重要！

4. 帰国後

- 地域の人々との繋がり
- 本当に大切なものを判断できる
価値観
- 物が無いなか「自分」ですること
- 日本がいかに便利であるか
- 日本の安全な環境に感謝

- 途上国に住んだ経験は、他の途上国を考える上でも応用できることがある
- グアテマラでの日々は、日本ではありえないことの連続であったことから、自分の想像を超えて物事を捉えることができるようになった

- 人に“伝える”技術を身に着けた
- 少しの知識で救える命がたくさんある事を知った

- モノの見方や価値観の変化が
看護の幅を広げた。
- 問題を解決する力と行動力を
医療チームの中で発揮できるよ
うになった。

5. 質疑応答

「コミュニティ開発」

9月4日(火) 21:00～

視聴お申し込みはウェブサイトから



■全国説明会キャラバン

■WEB説明会

（インターネット配信によるオンライン説明会）

■OB/OGのビデオ相談

（青年海外協力隊経験者とのビデオチャット）

■お気軽質問窓口（WEB上の質問箱）

JICAボランティア

検索

